

働く女性の味方

コインランドリーに商機

たと、顧客獲得に動いている。コインランドリー経営は資格不要で手間がかからないビジネスとしても注目を集め、全国チェーンのフランチャイズ店も攻勢をかける。

働く女性が増え、まとめ洗いが効率的にできるコインランドリーの需要が高まっている。商機と捉える県内の各社は、クリーニング店に併設したり、待ち時間に利用できるカフェを備え



主婦層の利用が増えているクリーニングホシノのコインランドリー

フランチャイズ展開するマンマチャオ(横浜)は、10年から本県に出店を始め、現在15店を展開する。

同社によると、全国的に主婦の利用が7割で、「働くママのまとめ洗い需要」が伸びている。本県店舗について「売り上げは全国的にみても良い方」としている。同社は、手間のかからなさやリスクの低さ、利回りの高さなどから、「コインランドリー投資」を勧める。店舗運営の支援体制を整え、フランチャイズオーナーの作業負担を軽減しており、サラリーマンの副業としても人気という。

まとめ洗い便利 カフェ併設店も

クリーニングホシノ(藤岡市)は2010年から、クリーニング店にコインランドリーを併設し展開している。本県と埼玉県に計7店あり、年内に高崎市に2店を開業する予定だ。

星野康一社長は「学生や単身者はもちろん、雨の日に洗濯物が乾かなくて利用した主婦の方がコインランドリーの良さを分かってくれて利用が広がっている」とみる。今後開

業する店舗では、女性がより入りやすいデザインを検討している。さくらドライ(沼田市)は15年に前橋市川原町にクリーニング店との併設店を初めて出店した。根岸睦男社長によると、3年計画の売り上げ目標を1年で達成したほど、反響は大きかった。今年4月には店舗の空きスペースを活用し、カフェを開設。待ち時間に本格コーヒーを味わえる上、カフェ店

内からコインランドリーの様子を見られるようにした。相乗効果で客の固定化や新規客の獲得につなげている。コインランドリーを